

一般国道220号

古江バイパス

1．古江バイパスの概要

2．事業の効果及び必要性

事業を巡る社会情勢等の変化

事業の投資効果（費用便益効果分析）

事業の進捗状況

3．事業の進捗の見込み

4．コスト縮減や代替案立案等の可能性

5．対応方針（原案）

1 . 古江バイパスの概要

(1) 一般国道 220 号の概要 (大隅河川国道事務所管内)

大隅河川国道事務所管内の一般国道 220 号は、宮崎県境から垂水市福山町境に至る 82.6km の路線であり、鹿屋市、垂水市など大隅半島の主要な都市を縦貫している。

同路線は東九州自動車道 (国分 IC) や重要港湾志布志港へのアクセス道路でもあり、大隅半島地域と広域圏を結ぶ上で非常に重要な路線である。また、通過する市町村の沿線には人家や商店、大型商業施設等が集積していることから、大隅地域住民の日常生活の中心的役割を担う路線となっている。

そのため、一般国道 220 号には主要幹線として、また地域の生活道路として安全性、走行性、定時性の確保、さらには災害に対する強さが求められているところである。



一般国道 220 号のルートと古江バイパスの位置

(2) 一般国道 220 号古江バイパスの概要

1) 概要

一般国道 220 号の鹿屋市古江にある通称「古江坂」は、急勾配なうえ、急カーブの連続で通行車両の安全な走行を妨げている。

また、防災対策箇所として 2 箇所が指定されている。

古江バイパスは、このような問題を解消し安全で円滑な走行が可能となることを目指している。

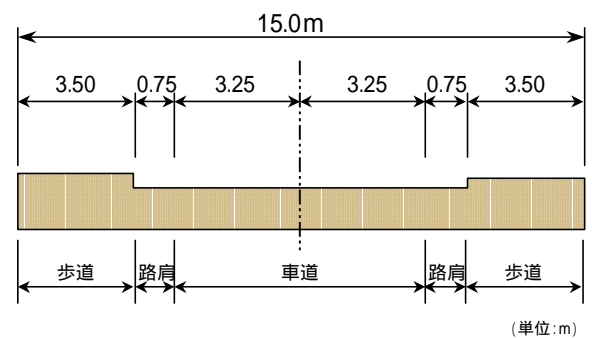
本事業が完成すれば平成 3 年度に暫定供用した鹿屋バイパスと接続し、地域の発展に大きく寄与されるものと期待される。

2) 道路諸元と横断面構成

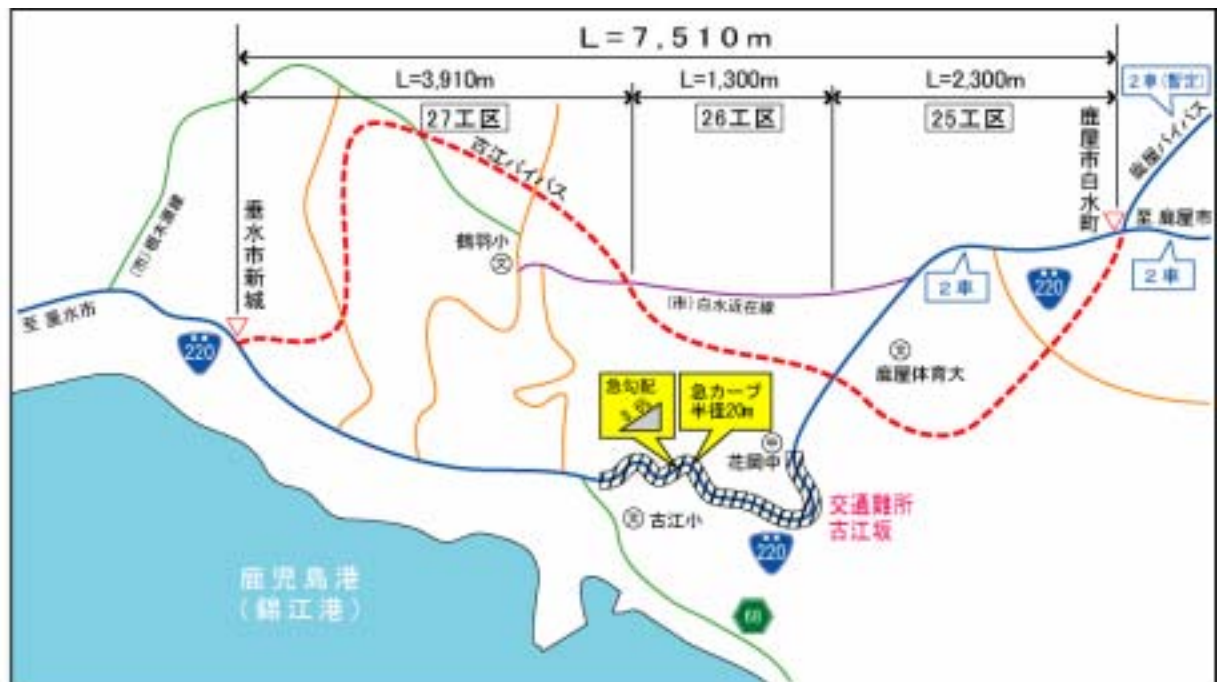
道路諸元

路線名	一般国道220号 古江バイパス		
事業区間	自) 鹿屋市白水町 <small>かのやし しるみずちょう</small> 至) 垂水市新城 <small>しんじょう</small>		
事業化年度	平成元年		
延長	L=7.6km	幅員	W=15.0m
構造規格	第3種2級		
最小半径	R=200m	最大勾配	5.0%
設計速度	V=60km/h		
車線数	2車線		

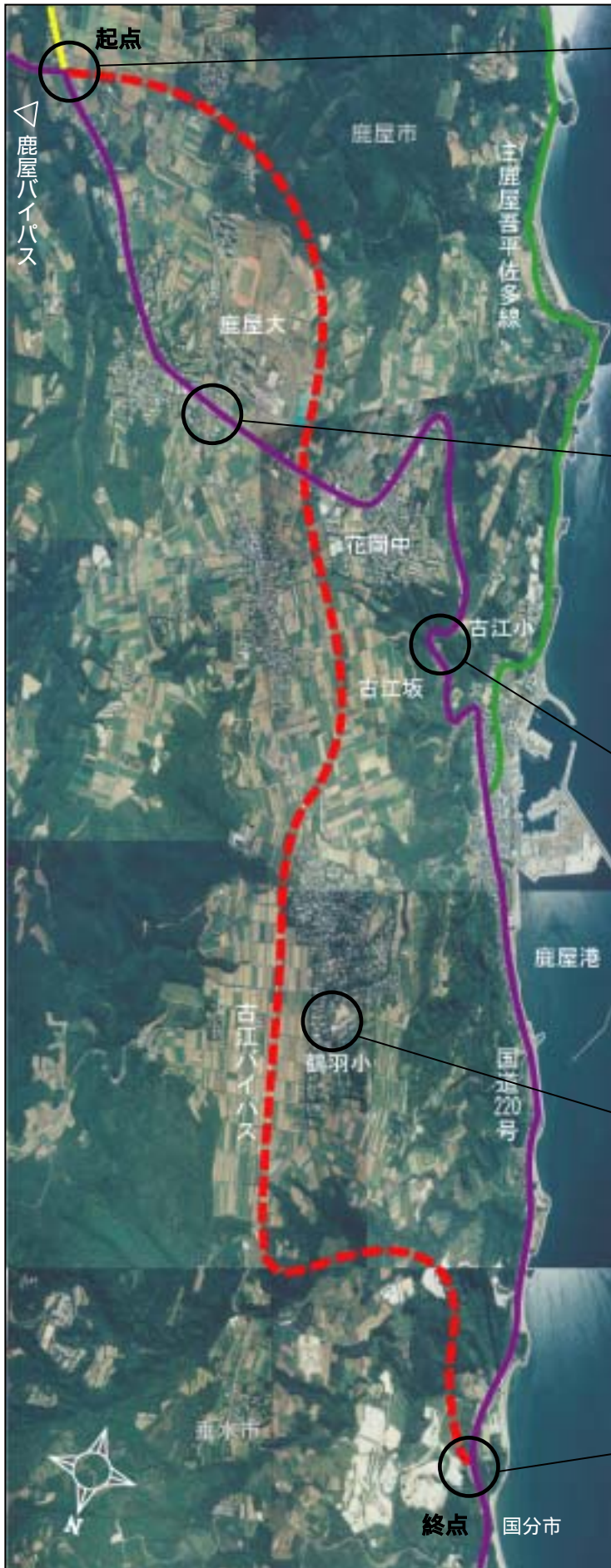
横断面構成



古江バイパスの位置



3) 沿道状況



白水町
鹿屋バイパスとの接続地点（起点）



鹿屋大前
市道白水近左線との交差点付近



古江坂
急勾配、急カーブの連続する古江坂



鶴羽小
バイパスルート付近の小学校付近

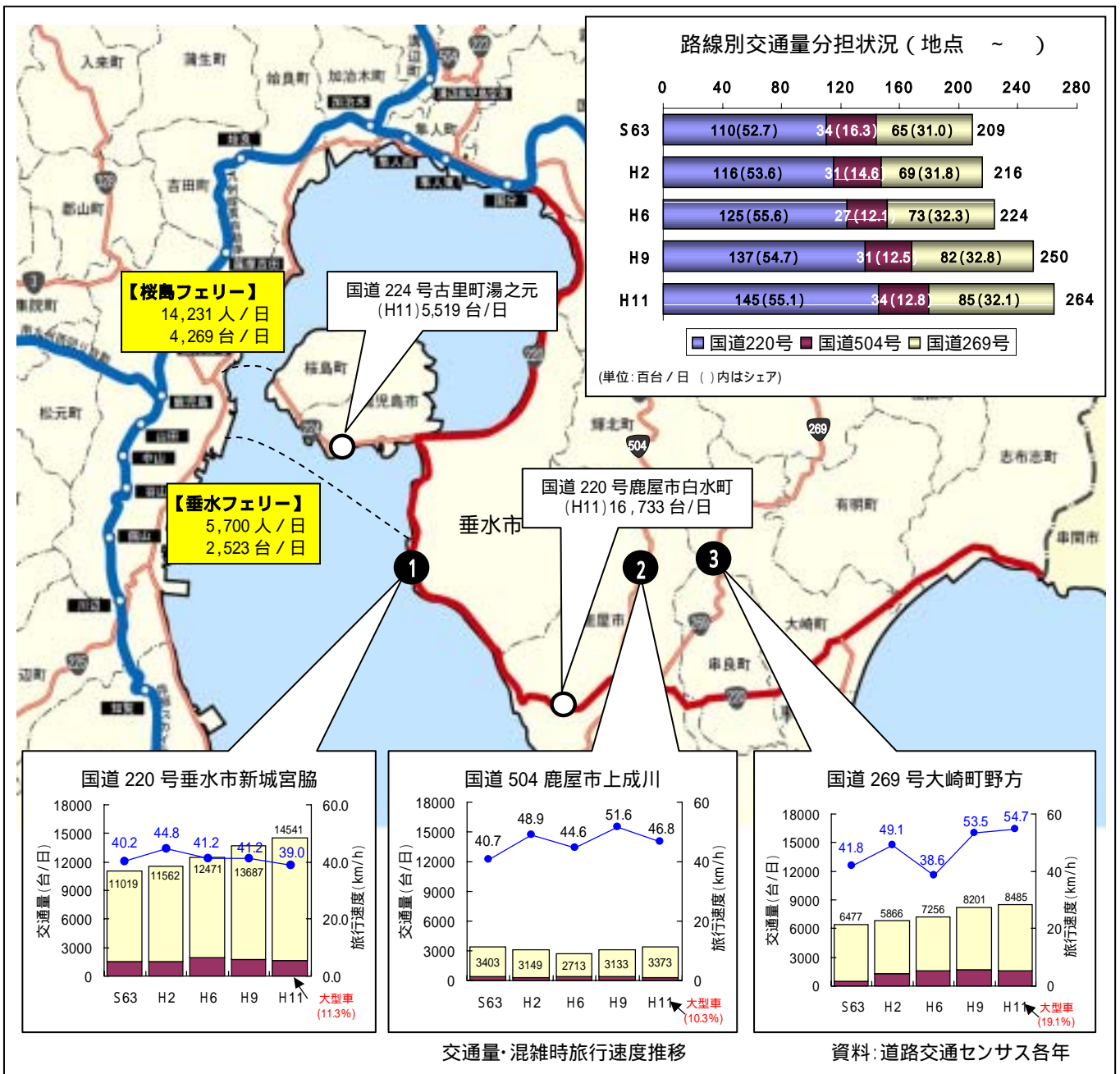


垂水市新城
古江バイパスの終点

(3) 交通現況

国道 220 号は、大隅半島に位置する国道の中で唯一 1 万台を越す利用交通があり、堅調な伸びを示している。

南北方向の 3 路線の交通分担状況をみると、利用交通量が過半数を占めており、その割合も年々増加傾向にあることから、大隅地域にとって国道 220 号は鹿児島市をはじめ広域圏とを結ぶ基幹道路として特に重要なルートといえる。



桜島フェリー、垂水フェリーは H14 実績値の日平均利用数